

産前・産後ママケアホテル推進事業

休むことは、育てること。
家族の未来を、会社とともに。

認証ホテル・旅館とマイ助産師が支える、
家族の新しいはじまりを育てる滞在。

一般社団法人ジャパンママケアホテル推進協会
企業向け導入提案





家族が安心して休み、未来を描ける滞在へ

協会が全国展開を目指す、産前・産後ママケアホテルとは。

認証ホテル・旅館の心地よさと、
母乳育児の専門資格も持つマイ助産師の支援を、
家族の暮らしが始まる時間に届ける「第三のケアハブ」です。

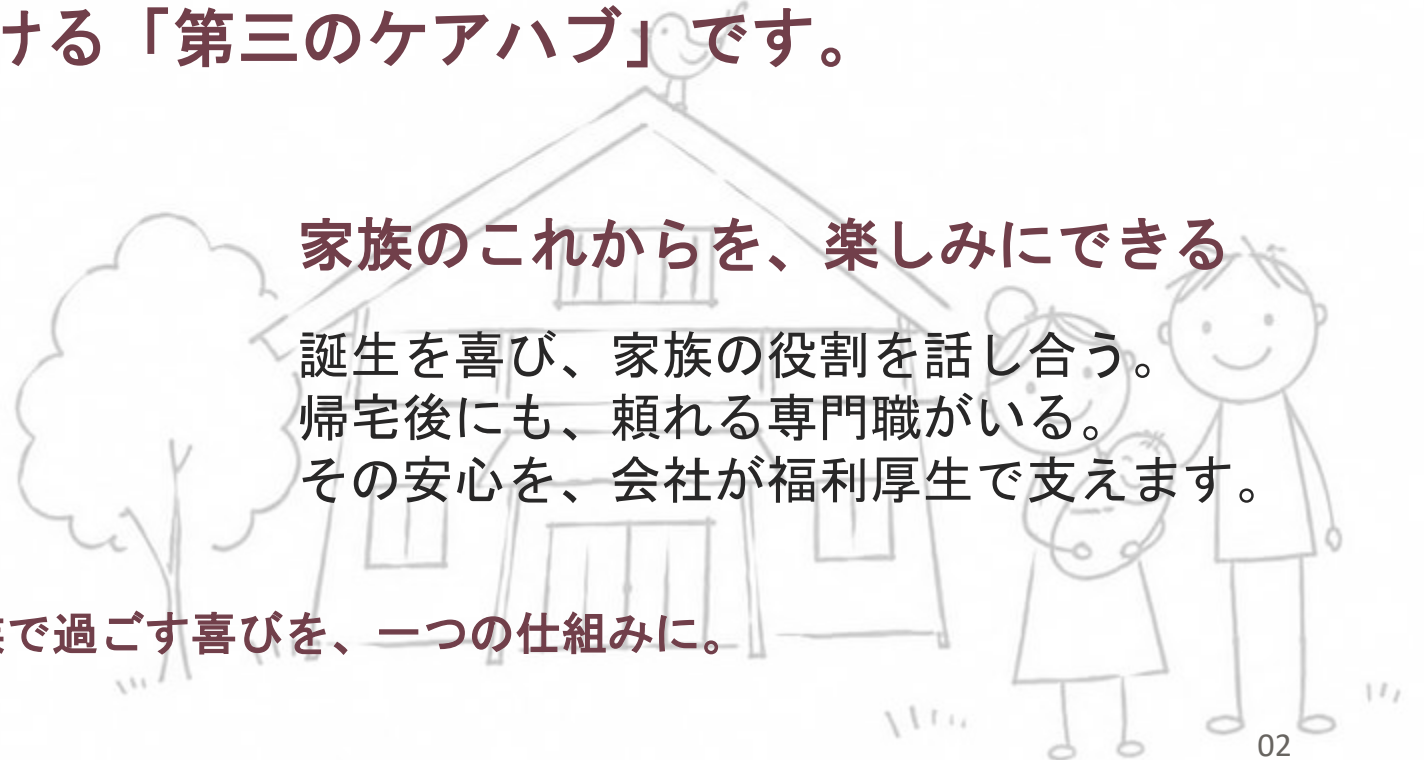
母親自身が、大切にされる

食事や清掃を任せ、まずは眠る。
授乳や育児の迷いを、一人で抱えない。
自分の心身に目を向けられる滞在です。

家族のこれからを、楽しみにできる

誕生を喜び、家族の役割を話し合う。
帰宅後にも、頼れる専門職がいる。
その安心を、会社が福利厚生で支えます。

場所を選ぶ自由、専門職に頼れる安心、家族で過ごす喜びを、一つの仕組みに。





福利厚生を、企業の思いが届く支援に

休息から復職までを支える、本事業の位置づけ

本事業は、企業の福利厚生を基盤に、健康経営、人的資本投資、仕事と育児の両立支援を具体化する取組です。産後の母親と家族が安心して休み、暮らしを整えられる環境を支えることで、従業員の就業継続と企業の持続的な成長への貢献を目指します。



会社の方針を、利用できる制度・費用負担・継続支援として実行します。



認証は、安心して滞在先を選ぶための根拠

サステナブルママケア認証制度の施設認証を、共通の品質基盤に。

家族には、選ぶ際の見通しを

受けられるケア、夜間の対応、
母子の滞在環境、医療への連絡体制を
予約前に確かめられるようにします。

拠点が変わっても、基準は共通

専門職の資格・配置、衛生・乳児安全、
相談と記録、医療連携を共通化。
その上で、各施設の魅力を生かします。

企業には、導入を判断する資料を

認証範囲と有効期間、運営責任者、
受入条件、緊急対応を確認でき、
社員に選定理由を説明できます。

取得後も、品質を確かめ続ける

監査・更新と利用者の声を通じて、
改善すべき点を把握して是正。
重大な不適合には受入停止等に対応。

認証範囲・運用状況を導入時に確認。民間認証は法令上の許認可や無事故の保証を代替しません。



住む場所を越えて、自分たちに合う滞在先へ

居住自治体の区域を越え、全国の対象認証ホテル・旅館から選べる仕組みです。

自宅の近くで

移動の負担を抑え、家族が仕事や上の子の生活と両立しやすく。

実家・家族の近くで

里帰り先でも専門ケアを受け、家族の集まり方を選べるように。

自然や文化にふれる場所で

海や緑の景色、土地の食を楽しみながら、落ち着いて過ごす。

企業には、各地の社員へ共通の利用資格・申込窓口・費用支援を届けられる利点。

利用先は稼働中の対象拠点から選択。空き・配置・受入条件・移動の負担を確認し、拠点網を順次拡大します。



家族の新しいはじまりを、ゆっくり育てる30日間

一例：1か月滞在プログラムは、休息から自宅の暮らしまでをつなぐ設計です。

段階・目安	滞在で大切にすること	支えるサービスの例
ほどく 到着～3日	まず眠る。温かな食事をとる。	説明・手続を最小限にし、休息を優先
満たす 4～10日	自分の体調と気持ちを確認める。	助産師との対話、食事、休息の調整
育む 11～20日	赤ちゃんの様子と、自分のペースを知る。	授乳・抱き方・日々の育児を一緒に確認
描く 21～27日	家族の暮らしと、これからを話す。	夜間の分担、家事、仕事への戻り方を相談
つなぐ 28～30日	帰宅後に困ったときの頼り先を持つ。	自宅の生活準備、継続相談の引継ぎ

日数も過ごし方も目安。予定で埋めず、「今日は何もしない」も大切な選択に。



ケアに、旅とウェルネスの豊かさを添える

自分の心身に目を向け、家族との時間を味わう滞在へ。

窓辺で景色を眺める。
温かな食事を、ゆっくり味わう。
赤ちゃんの表情を、家族で喜び合う。

外へ出なくても、満たされる

客室の静けさ、寝具、季節の食、接遇。
ホテル・旅館のホスピタリティが、
自分をいたわる時間を支えます。

家族の記憶に残る、楽しみを選ぶ

体調に合わせた散策や、家族での食卓。
誕生を祝う写真や、きょうだいとの時間。
家族の思い出を、ゆっくり育てます。

体験は提供例。外出は任意とし、母子の状態・医療アクセスを優先。内容と追加費用は施設ごとに確認します。



マイ助産師という、専門性と継続する安心

助産師の公的資格に加え、母乳育児の専門資格を持つ助産師。
その専門性を、滞在中から帰宅後までの支援に生かします。

授乳の迷いを、具体的な相談へ

「うまく飲めているか」「授乳が辛い」。
抱き方や授乳の様子、母子の状態を見て、
続けられる方法を一緒に考えます。

帰宅後も、話がつながる

滞在中の経過や希望を知る担当・チームが、
成長に伴う授乳や生活の変化を相談支援。
必要な医療や地域のサービスへつなぎます。

自分に合う育て方を選ぶ

母親の希望と赤ちゃんの状態を大切に、
休息と授乳、家族の分担を調整。
母乳・混合・ミルクの選択を尊重します。

家族の暮らしと復職を見通す

休み方・育児の分担・相談先を
「マイケアプラン」に整理。
自宅でも、頼れる先がある安心へ。

公的資格と専門資格を確認して配置。継続相談は原則産後1年を基本案に、方法・期間・費用を明示します。



各地の魅力を、企業が使える全国ケア基盤へ

協会・総合旅行業・助産師職能団体が、提供と利用の仕組みを共創します。

協会

認証・共通基準・監査を担い、選べる拠点の品質を支える。

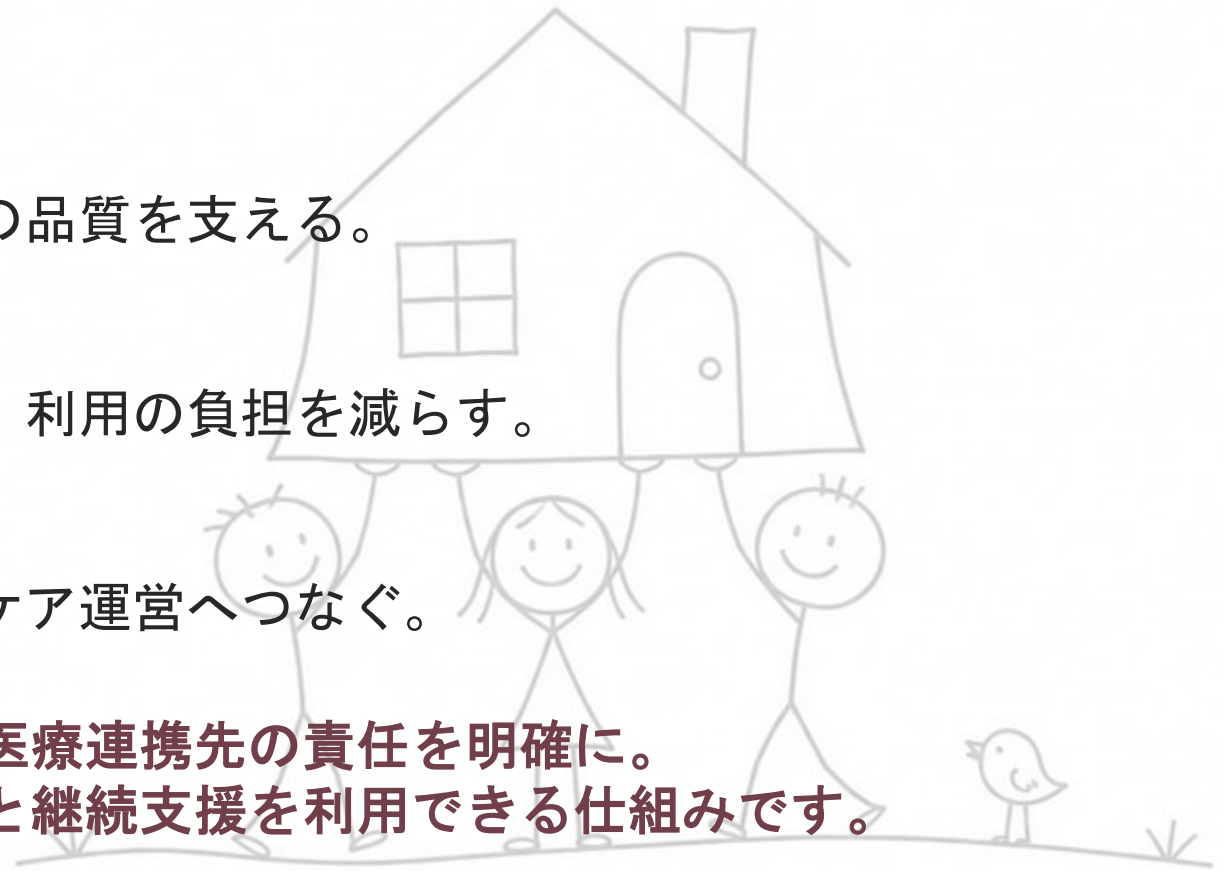
総合旅行業

予約・変更・施設手配・法人請求をまとめ、利用の負担を減らす。

助産師職能団体

専門基準・研修・人材確保を支え、地域のケア運営へつなぐ。

現場では、ケア運営主体・ホテル／旅館・医療連携先の責任を明確に。
共通の企業契約と窓口で、施設ごとの魅力と継続支援を利用できる仕組みです。





健康経営の課題を、社員が使える支援につなぐ

休息・相談・生活支援を提供する、企業の健康施策の具体的な受け皿です。

健康経営の領域	本事業が担う支援	企業とつなぐ取組
女性の健康	専門資格を持つ助産師への授乳・体調相談	産業保健との連携
心の健康	不安・孤立への相談、専門機関への接続	相談窓口と緊急対応
睡眠・栄養	休息の確保、食事、家庭での生活相談	本人の休息実感と継続支援
健康知識	本人・家族へのセルフケアと相談先の案内	管理職・社員への適切な研修
育児との両立・復職	育児相談、家族の生活づくり、退所後支援	復職面談、勤務・業務の調整
家族の健康	配偶者等にも利用できるケア・相談	利用資格と継続窓口の周知

制度導入だけで認定・加点が決まるものではありません。企業の施策・実績と申請条件を照合します。



このサービスを選ぶ理由が、社員にも企業にもある

それぞれの強みを、利用する人と費用を負担する会社の価値へ。

本事業の特徴	社員・家族が得られる価値	企業が導入する理由
施設認証	ケア体制を確認して滞在先を選べる	共通基準を委託先選定の根拠にできる
マイ助産師の専門性	母乳育児の専門資格も持つ助産師に相談	専門職の資格要件を確認して提供できる
全国から場所を選択	自宅・実家・希望の地域から選べる	各地の社員へ共通の制度で支援できる
30日間の滞在設計	休息から家族の生活づくりまで支援	健康・両立支援の具体的な実施先を持てる
旅・ウェルネスの魅力	土地の食や景色、家族の時間を楽しむ	社員が利用したいと思える福利厚生へ
退館後も続く支援	経過を知る担当・チームへ相談できる	家庭での支援を復職前後までつなげる

会社が費用を支えることで、この選択肢を社員の手の届くものに。対象拠点・提供条件は契約時に確認します。



会社の負担を、利用できる福利厚生にする

社員と家族を大切にする方針を、標準サービスの全額負担で形に。

対象 従業員本人・配偶者・パートナー。日数・利用枠・対象拠点を規程化。

利用 企業の利用証等で資格確認。共通窓口で相談・受入確認・予約。

支払 会社が契約先へ直接精算し、標準範囲は利用者の立替不要を目指す。

人事・福利厚生部門を主管に、健康推進・財務等と予算化。
年間予算 = 利用見込件数 × 会社負担単価 + 別建て固定費・社内運用費

任意追加・移動・家族同宿・取消料の扱いと本人課税の有無を確認。単価は提供体制と見積りに基づき確定します。



復職まで、そして復職後も支える

休息を起点に、本人の希望と健康状態に合った働き方につなげます。

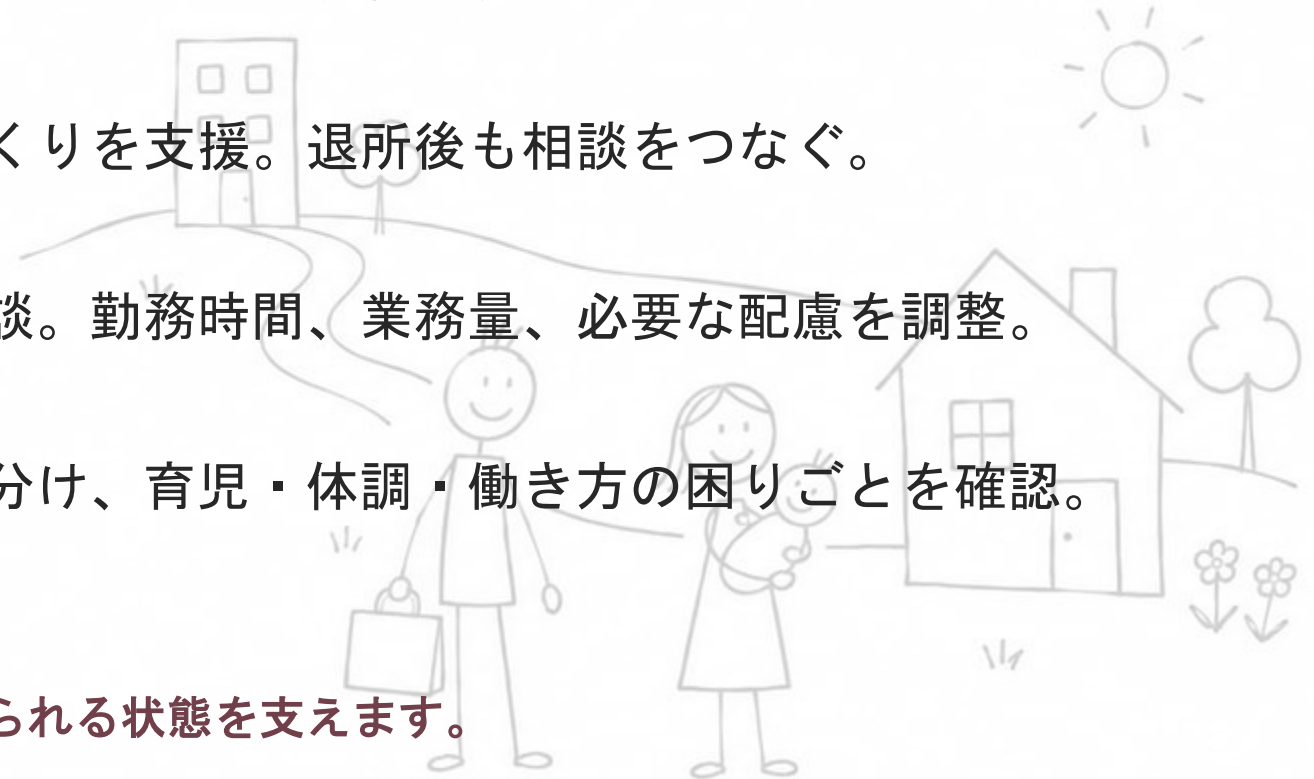
休業前 会社が制度を案内。希望する休業・復職と、連絡方法を確認。

滞在・育休中 ケア側が回復と生活づくりを支援。退所後も相談をつなぐ。

復職前 本人・人事・上司が面談。勤務時間、業務量、必要な配慮を調整。

復職後 職場とケア側が役割を分け、育児・体調・働き方の困りごとを確認。

復職を急がせず、本人が納得して戻り、働き続けられる状態を支えます。





「家族まで大切にしてくれる会社」を、実感へ

必要な時期に支援が届く経験を、会社への信頼と就業継続につなげます。

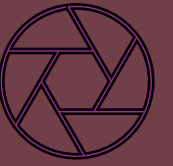
導入設計 社員の希望を聞き、対象・日数・会社負担・継続支援を決める。

提供確認 認証範囲、人員・夜間体制、医療連携、料金・契約を確認する。

社員への案内 妊娠期から周知。本人が相談して選べる申込方法と窓口を用意する。

実証・改善 休息実感、会社への信頼、復職前後の支援、費用と運営を確かめる。

企業へは必要な利用・費用情報と集計結果を報告。個別の相談内容は適切に保護します。



産後をゆっくり休むことが、当たり前文化へ

社員と家族の、大切なはじまりに。
休める場所と、頼れる人と、
これからを楽しみにできる時間を。

認証ホテル・旅館、マイ助産師、企業の福利厚生を結び、
全国から選べる「第三のケアハブ」を育てます。

企業での先行導入を、自治体との連携、国への「産後1か月休息制度」の提言へ。
まず、貴社の社員と家族に届ける利用枠から、共に設計しませんか。

